

旭堂南海さん

中将姫の講談

当麻寺で28日

当麻寺（葛城市）の国宝・当麻曼荼羅の由来について語る「上方講談」が28日、同寺中之坊で開かれる。講談師は3代目旭堂南陵さん

の弟子、旭堂南海さん。「中将姫」の題で、奈良時代、蓮糸で一夜にして曼荼羅を織り上げたという伝説を臨場感たっぷり聞かせる。

三味線は寄席音曲師の柳家紫文さん。午後2時開演で、料金は2500円。問い合わせは金壽堂出版（0745・69・7590）。